

「国境なき医師団」による「命」の授業

11月13日（水）5、6年生を対象に「国境なき医師団」から群馬県にお住まいの外科医師の先生をお招きし、「命」について考える授業を行いました。「国境なき医師団」は世界約90の国や地域で活動しているとの話が冒頭にありました。講師の先生からは映像を交え、南スーダンでの活動の様子を中心にお話をいただきました。南スーダンでは、三人に一人が自分の家がないこと、民族間での争いで多くの人が犠牲になっていること、たくさんの子どもたちが戦争や飢えに苦しんでいることなどを聞き、児童は驚いている様子でした。今の生活を当たり前と思わず、命の大切さ、自分や周りの人を大切にすること、そして自分たちができることは何かなど、改めて考え、実行してほしいと思います。

